

# 令和7年度事業報告書

## 1 事業の実施報告

令和7年度は、5年ぶりにボランティア派遣事業の再開を計画し、南山大学を中心に学生ボランティアの募集を行いました。食品配布支援事業との連携を図りながら、現地での活動を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策により、現地のサウスビルI小学校は1年半以上にわたり閉鎖され、オンライン授業へ移行するなど教育環境が大きく変化していました。為替相場は2.58~2.715の範囲で推移し、当法人では年間レートを2.7として運用しました。

### (1) 学校建設事業

令和7年度の学校建設事業は、昨年度に続き中止としました。近年、建設資材および現地人件費が高騰していることに加え、現地校舎建設においては「将来2階以上へ増築可能な構造であること」など新たな要件が課されました。従来当法人が建設してきた平屋建て校舎は要件を満たさないため、事業継続は困難と判断しました。

### (2) ボランティア派遣事業

#### ① 2025年春参加ボランティア文集の発行

食品配布支援を行っているサウスビルI小学校とは、日本の学生ボランティア受け入れに関するパートナーシップを締結しています。学生ボランティアは約700名の6年生を対象に授業を行い、また1家庭ごとのホームステイや地域住民との交流を通して異文化を体験しました。体験文集には、「貧しくても助け合いながら明るく生きる現地の人々の価値観に触れ、自身の生き方を見直す機会となった」などの感想が多く寄せられました。5月には例年どおり体験文集を発行し、関係者へ配布しました。今迄に活動体験した多くの学生が成長してきた実績が過去の文集に残されています。

#### ② 2026年春活動の募集状況

現地派遣によるボランティア活動の重要性とその効果を再度確認して、募集活動を再開しました。2025年の体験ボランティア間で次年度の募集リーダー決定と活動が遅延。RASAと顧問である南山大学のドミンゴス教授に相談して、募集の具体的な計画を立てました。ドミンゴス教授が宗教論やキリスト教概論(大学必須教科)の教授に募集協力を呼び掛けていただいて、授業始め10分程度RASAスタッフが活動内容の説明し、昨年のボランティアが活動で得た貴重な体験を発表して、参加を呼びかけました。キリスト教センター(学生の活動場所)長ムンシ教授からも協力を得て、5月15日以降、6月に5回、7月に4回、計9回の説明会を授業の教室にて実施しました。応募者は説明を受けた学生に限られ、最終的に南山大学11名、中部大学・名城大学・東海工業専門学校から各1名、計14名(男子5名、女子9名)が参加しました。

### ③ 事前現地出張

目的：ボランティア派遣事業の準備、食品配布契約および現地状況の確認

期間：7月20日～26日、11月9日～15日

### ④ ボランティア活動内容（2026年2月15日～3月4日・18日間）

- ・15日夜、現地コーディネーターよりホストファミリーとの組み合わせが発表され、各家庭での生活が開始。事前に安全・衛生面、家族の一員として受け入れの指導を実施。
- ・スタッフが各家庭を訪問し、受け入れ状況を確認。
- ・生活を共にする中で理解が深まり、学生は英語でのコミュニケーション力を高める貴重な経験となった。
- ・授業は4グループに分かれ、6年生16クラス・約700名を担当。1グループあたり3回、延べ48時間の授業を実施。挨拶・自己紹介・日常会話などをローマ字・ひらがな併記で教材化し、役割分担しながら準備・練習を行った。
- ・日本の伝統的な遊びを紹介するなど、ボランティアと生徒との直接交流を通じて双方にとって有意義な体験となった。現地生徒の日本へのあこがれが強く、日本語を覚えたい気持ちを生徒から強く感じたようです。
- ・初日および最終日には盛大な歓迎・送別行事が行われ、各学年によるダンスや演奏が披露された。
- ・最終授業後には学校の送別催事が催され、ボランティアおよびホストファミリーへ参加証明書が授与され、懇親会も開催された。懇親会では、学校が誕生日を迎えた2名のボランティアのお祝いケーキを始め、たくさんの御馳走を準備。先生、コーディネーター、ホストファミリー、ボランティア、スタッフも参加し、部屋一杯になる盛大な懇親会となり思い出深いものとなった。
- ・活動期間中、ボランティア3名とスタッフ1名が風邪や下痢で一時休養した。
- ・学校での全スケジュールを終えて、28日は貸切バスでタガイタイ観光を実施。翌日はホストファミリーと最後の時間を過ごした。
- ・3月2日渋滞を避けるため早朝にマニラへ移動し、トンド地区(スモークマウンテン)、イントラムロス遺跡、ショッピングセンター等を見学。翌日はアヤラミュージアムを訪問し、日本人解説者の案内でフィリピンの歴史を学んだ。
- ・3月4日全員無事に帰国。
- ・3月14日には帰国後の反省会を開催し、参加証明書を授与。提出された体験記には「異文化理解」「人とのつながり」「幸せとは何か」「日本の良さの再認識」などが多く記されていた。文集は原稿が揃い次第発行予定。

ボランティア派遣費用：2,302,980円

### (3) 栄養失調児救済事業（食品配布事業）

2011年、学校建設中に学外で50名の栄養失調児童(飢餓)への給食支援を開始し、2015年からは校内に給食場所を設置して支援を継続しました。翌年から2020年3月までは、5・6年生各50名(計100名)を対象に卒業までの給食支援を実施しました。

2020年3月、新型コロナウイルス感染拡大によりフィリピン全土で外出禁止・登校禁止が長期化しました。2021年8月、フランススコ校長より「外出禁止で働けず、食料を購入できない家庭が増えているため、児童と家族を救ってほしい」との要請を受けました。対象は幼稚園～6年生まで各学年20名、計140名とその家族で、食品を世帯へ配布する方式です。

財源確保のため、シーランド神父の紹介により東京の団体「手を貸す運動II」へ支援を依頼したところ、事情をご理解いただき即時に支援を決定していただき、以降継続的なご協力をいただいています。

#### 支援内容

- ・2021年9月より登校再開に合わせて支援開始
- ・1人100円/日、年間登校日数209日、対象140名(家族単位)
- ・年間実績：317万円(人件費含む)
- ・月2回の食品配布(米5kg、粉ミルク、卵、肉・魚缶詰、インスタント麺等)
- ・2023年度以降は休校期間2か月も支援継続とし、通年配布へ拡大
- ・12月は準備の都合で1回配布とし、クリスマス用の特別食を追加

#### 2025年度実績

食品費：3,842,750円  
人件費：270,000円  
RASA支所(デニス氏)経費：202,500円  
送金手数料：12,500円  
合計：4,327,750円

物価上昇および円安の影響により、同額の予算でも購入できる食品量が減少傾向にあります。

## 2 会議に関する報告

### 通常総会

開催日時 令和7年6月21日9時30分

開催場所 南山大学キリスト教センター（名古屋市昭和区山里町18）

社員人数 29名 本人出席 10名

委任状 14名

審議事項 第1号議案 令和6年度事業報告…満場一致で承認した。

第2号議案 令和6年度決算報告

監査報告

議事の概要及び議決の結果…可決承認された。

第3号議案 令和7年度事業計画について

議事の概要及び議決の結果…満場一致で承認した。

第4号議案 令和7年度活動予算について

議事の概要及び議決の結果…満場一致で承認した。

第5号議案 任期満了に伴う役員を選任について

藤井典夫氏 理事退任、瀬古和樹氏 監事退任、藤井典夫氏 監事就任  
貴船貢氏の新理事就任を加え、令和6年度現行役員6名留任で  
令和7年度は理事7名、監事1名で、特定非営利法人 RASA -Japan  
の運営を行うことが決定した。

### 理事会 (1回目)

開催日時…令和7年5月17日9時30分

開催場所…法人事務所（名古屋市天白区中平二丁目2627番地）

出席理事…7名（藤井忠子、藤井典夫、本田直文、寺尾嘉泰、山本良治、山田孝子、後藤学）

審議事項…第16回社員総会の招集とその付議議題の審議

議事の経過と概要及びその議題

議案 第16回社員総会の招集手続きとその付議議題の検討

第1号議案 令和6年度事業報告の件

第2号議案 令和6年度決算報告の件

第3号議案 令和7年度事業計画について

第4号議案 令和7年度特定非営利活動に係る予算について

第5号議案 任期満了に伴う役員を選任について

### 理事会 (2回目)

開催日時…令和7年5月24日9時30分

開催場所…法人事務所（名古屋市天白区中平二丁目2627番地）

理事総数…7名（藤井忠子、藤井典夫、本田直文、寺尾嘉泰、山本良治、山田孝子、後藤学）

審議事項…第16回社員総会の招集とその議題

議案 第16回社員総会の招集手続きと付議議題の検討の件

第3号議案 令和7年度事業計画について

上記の議案を検討した結果、原案の通り6月21日の社員総会に付議することになった。

## 月例会・理事会

開催日と場所… 原則的には、月開催9時半から12時まで RASA の事務所で開催

メンバー … 理事8名（固定）と社員（自由参加）事務員

議題… 当法人が直面する課題、短期的な課題と長期的な課題

会合は必ず議事録を取り次回以降の参考になるようにする。

当法人および関係団体、個人が関係するイベントなどの関する情報の共有化を図り計画的に業務遂行ができるようにしている。会議構成メンバーには、事務局以外に全理事にも含まれているので、内容によっては、理事会としての位置づけをして理事会の結論に繋げる仕組みにしている。

## フィリピン出張等 重要な庶務事項

出張者…藤井忠子理事長、後藤学理事、貴船貢理事

① 期間…7月20日～26日 7日間

場所…フィリピン国ラグナ州のサウスビル I 小学校（他ミットヨ会社 DENSO 工場）

内容…

21日 学校昨年の校長 Celena Molin awe 転勤で新任校長 Alon Raton、責任者 OIC と面談。

22日 休校

23日 DENSO 工場見学の打ち合わせ。

ミットヨ（手を貸す運動IIからの紹介）会社訪問。

小山氏と面談、寄付金を受領 打ち合わせ後食事の招待を受ける。

24日 学校訪問、RASA の食品配布支援継続を確認し校長に2025年度覚書を受領。

覚書内容は、DepEd Order No.012 2025 に基づいたもので、帰国後 RASA の理事会で承認した内容で新たに日本の RASA で作成して、送付し承認得た。RASA の昨年実施した対象期間及び、支援額を昨年実績に基づき変更した。

### <覚書>

第1条…RASA が食料を提供し、飢餓や貧困問題の解決に寄与し、学校は日本からのボランティア交流ツアーを受け入れる。

第2条…RASA は国際的なパートナーシップを築いてきた団体で、その活動は持続可能な開発目標 SDG s 17 目標の No1(貧困をなくそう)、No2(飢餓をゼロに)、No4(質の高い教育をみんなに)、No17(パートナーシップで目標を達成しよう)の4目標と合致する。

### 第3条…支援対象期間

学年度授業日数 197 日に加え、RASA は夏季休暇(休校期間 4~5 月)も支援対象とした。  
年度は RASA の会計年度(2025/4~2026/3)とし、同意書を取り交わした。

### 第4条…食品の予算

RASA の理事会で承認された金額を提示。

送金先…フィリピンの RASA の事務局長デニス・シネンセ氏の口座

### 第5条…支援対象者の選定

各学年からコーディネーターと学年毎の教師が選定。

各学年から 20 名、7 学年合計 140 名を選出。6 か月毎に各 140 名を選定し、延べ 280 名を対象。その内約 50 名の困窮児が通年支援の対象になる。

#### <支援対象選定基準>

- a・栄養不良の児童
- b・前学年中退、前学年欠席の多い児童、貧困や家庭事情で中退が予想されそうな児童
- c・障害のある児童
- d・低所得の家庭
- e・保護者が安定した仕事がない、パンデミック中に失業し現在も仕事に就けない
  - 第1グループ (140名) 2025年7月から12月迄
  - 第2グループ (140名) 2026年1月から6月迄

### ② 期 間…11月9日~15日 7日間

場 所…ラグナ州のサウスビル I 小学校

内 容…

10日学校 校長、コーディネーター2名、RASA 支所責任者、RASA(藤井、後藤、貴船)で  
面談。

2026年2月の Study Tour の下準備打ち合わせ。14人の学生ボランティアが6年生対象授業の活動に際して、対象クラスや授業内容、授業時間数などの設定を学校  
長、OIC、コーディネーターに依頼。

現地支所責任者とホストファミリー14軒の選定を依頼。

危機管理のための対処方法や場所の情報把握。

11日カブヤオ市役所 市ゴミ処理計画や予算を聴取。

13日 DENSO 工場 製造工場見学と会社の経営運営等の紹介を受ける。

14日スモーキーマウンテン訪問、現地の神父から住人の生活状況の説明を受ける。

イントラムロス入り口で説明を受け、見学には2時間あればよい。

Max レストランで昼食と来年の予約金支払う。

ショッピングモールのロビンソンを下見し、3月2日のボランティア活動時の食事予定場  
所の予約確認。

宿泊ホテルの支配人に、ボランティア14名男女別部屋割り、市内観光と空港への車両の  
手配、日本人の観光案内人の予約依頼。